

グループ
ネットワーク
関連会社案内



BUSINESS REPORT 2016.9

2017年3月期 第42期中間報告書
2016.4.1-2016.9.30

M1000 / 真のグローバル企業を目指す

M1000

Mini Ten
Mass customization
Open innovation
Agile
Surface Imaging
Digital on-demand
Internet of Things
Community-oriented sales
Open innovation
Internet of Things
3D Printer
Agile
Something new, something different
Regional sales approach, Community-oriented sales
Agile
Mini Ten
3D Printer
Innovator
Mini Ten
IoT Group
Independent Profitability
Surface Imaging management System
Agile
R&D oriented
Mini Ten
Surface Imaging 3D Printer
Agile
Open innovation
Mass customization
Internet of Things
Digital on-demand
Surface Imaging
Open innovation
Agile

株主メモ

事業年度	4月1日から3月31日まで
定時株主総会	毎事業年度終了後3ヶ月以内
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711 (通話料無料)

公告方法 当社ホームページ(<http://ir.mimaki.com/>)に掲載いたします。ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

上場金融商品取引所 東京証券取引所市場第一部

証券コード 6638

(ご注意)

- 株主様の住所変更その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



証券コード
6638

私たちは、インクジェットとカッティング技術を柱とした市場志向の製品開発により、デジタル・オンデマンド生産のマーケットリーダーを目指しています。

経営
ビジョン

- 1 独自技術を保有し、自社ブランド製品を世界に供給する「開発型企业」を目指します。
- 2 顧客に満足いただける製品を素早く提供する小回りの利いた会社を目指します。
- 3 市場に常に「新しさと違い」を提供するイノベーターを目指します。
- 4 各人が持っている個性・能力を一杯発揮できる企業風土を目指します。



ミマキが目指す
組織と企業像



代表取締役会長
池田 明



代表取締役社長
池田 和明

イノベーターの集団でありつづけるために、そして各人が持っている個性、能力を一杯発揮し、マーケットの潜在ニーズを素早く捉え解決するために、当社では技術・営業・生産・管理の4本部体制のもと、小集団によるグループ別独立採算制を追求するGIPS経営を行っています。

GIPS: Group Independent Profitability management Systemでは、各グループが明確な役割と責任を持ち、それぞれがあたかも町工場であるかのように自主的に活動します。

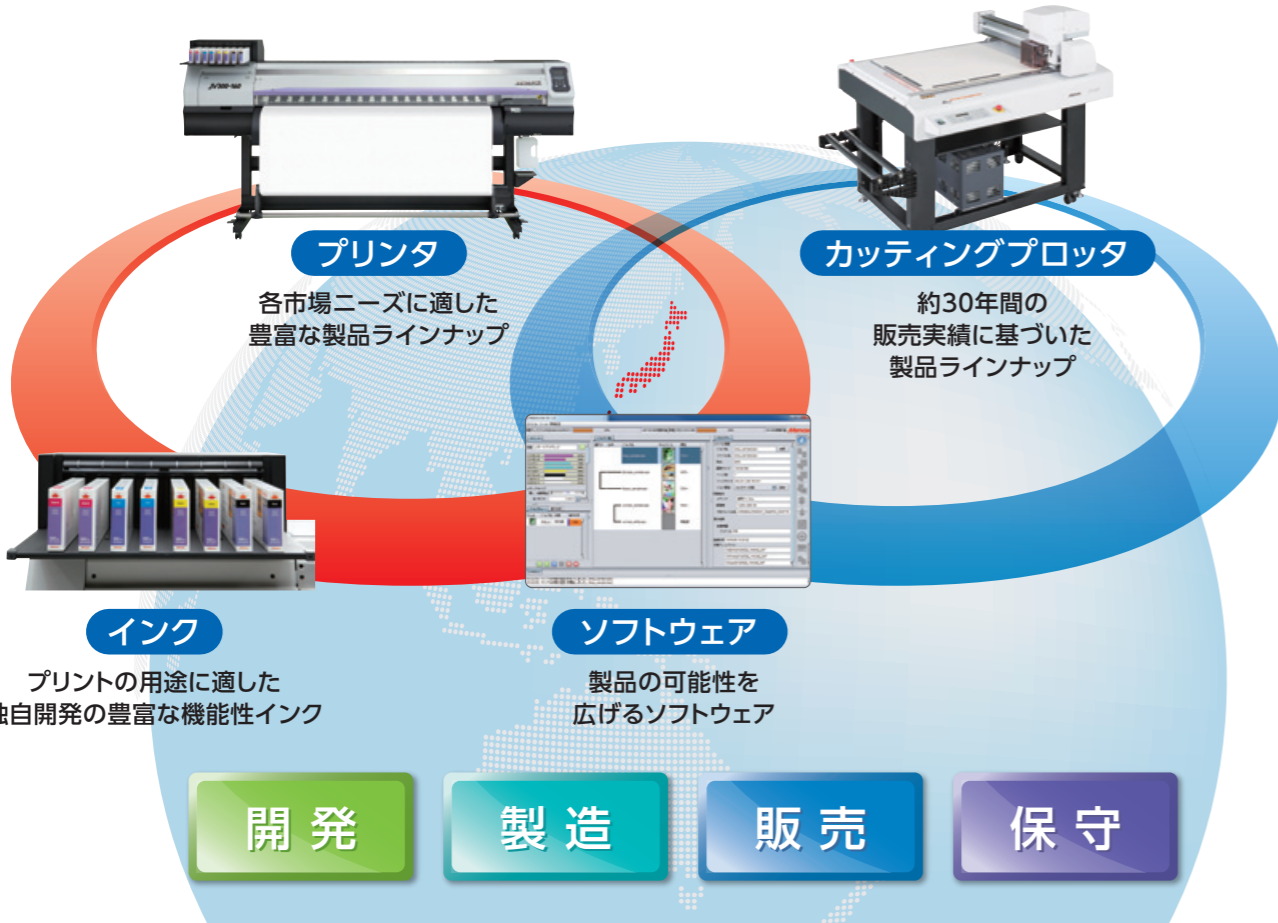
そして各グループの活動成果としての付加価値を明確にし、各グループにおいてリーダーを中心に自部門の採算向上を実現するため、各グループのメンバー全員が問題点を共有し、その解決に当たります。これらを通し社員全員が経営に参加し、一人ひとりが採算意識を持ち、信頼をベースにした葡萄の房のような小さな果実の集合体にしていきたいと考えています。



市場ニーズに合わせたトータル提案

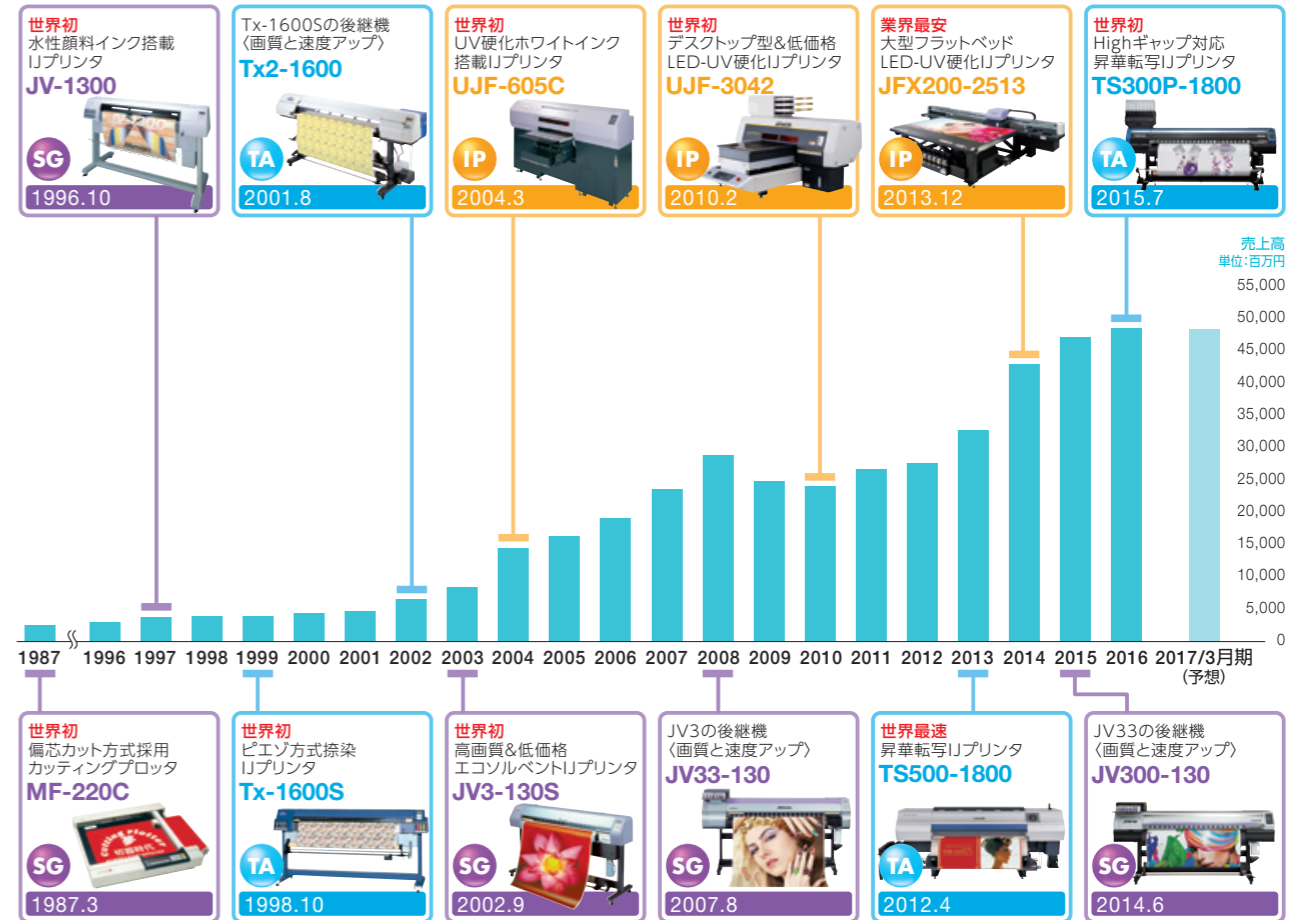
当社は、業務用インクジェットプリンタ、カッティングプロッタ、インク等の開発・製造・販売・保守サービスを一貫して行う開発型企业です。

プリンタ本体だけでなく、プリンタ本体に付加価値をもたらすインク、ソフトウェアも最適なものを独自開発し、一体的に提供しています。



Mimakiの歩みはイノベーションの歴史

デジタル・オンデマンド生産のマーケットリーダーとして、多様なニーズを迅速かつ的確に捉え、そこに狙いを絞った製品を素早く提供することで、今後も新たな市場と顧客を創出してまいります。



3つの販売市場に向けて製品を提供

「水と空気以外なら何にでもプリントできる」ことを究極の開発目標に据え、当社製品による“独自の付加価値”で市場を開拓しています。

SG Sign Graphics サイングラフィックス

大型ポスター、カーラッピング、のぼり旗、表示板といった広告・看板等、街を彩るビジネスシーンで活躍している当社の主力製品群

活用事例



主なプリント素材
・塩ビシート
・バナーシート
・ウィンドウフィルムなど

IP Industrial Products インダストリアルプロダクツ

自動車の計器パネルや家電類の操作パネル等工業製品のほか、一般消費者向けのギフトやノベルティ、オーダージュズ等の生産現場等で使用されている製品群

活用事例



主なプリント素材
・プラスチック
・アクリル
・ガラス
・金属
・木材など

TA Textile & Apparel テキスタイル & アパレル

裁断・縫製加工前の生地や既製服などファストファッション・スポーツウェア業界のほか、ファニチャー業界で拡大している製品群

活用事例



主なプリント素材
・ポリエステル
・レーヨン
・綿
・絹

世界各国のニーズを満たす製品・サービスを提供

地域密着の販売・保守サービス網の構築に加え、お客様の多様なニーズを素早く製品開発へ反映する体制を各国と地域で推進しています。また、個別のお客様が抱える課題を解決する拠点として、IPラボセンター、TAラボセンターを世界各地に展開してまいります。

連結売上高の約**75%**を海外で獲得。
グローバルな事業展開を行っています。

- 関連会社（販売・製造拠点）
- 関連会社の支店、営業所等
- ★ TAラボセンター設置予定

海外拠点に順次IPラボセンターを設置予定

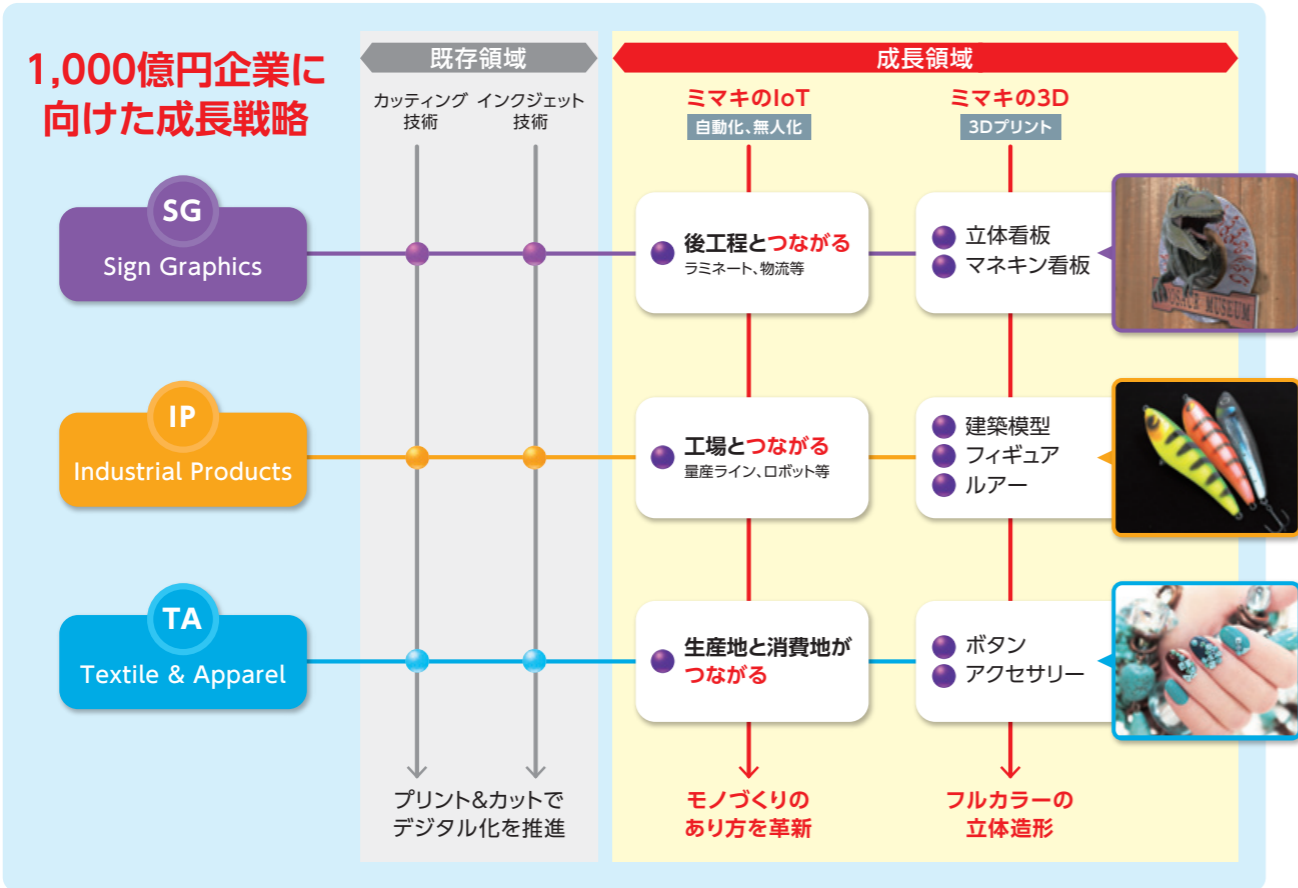


ラボセンターとは

当社のプリンタや専門機器を取りそろえ、より専門的な試験や評価を行い、お客様の課題解決をお手伝いいたします。

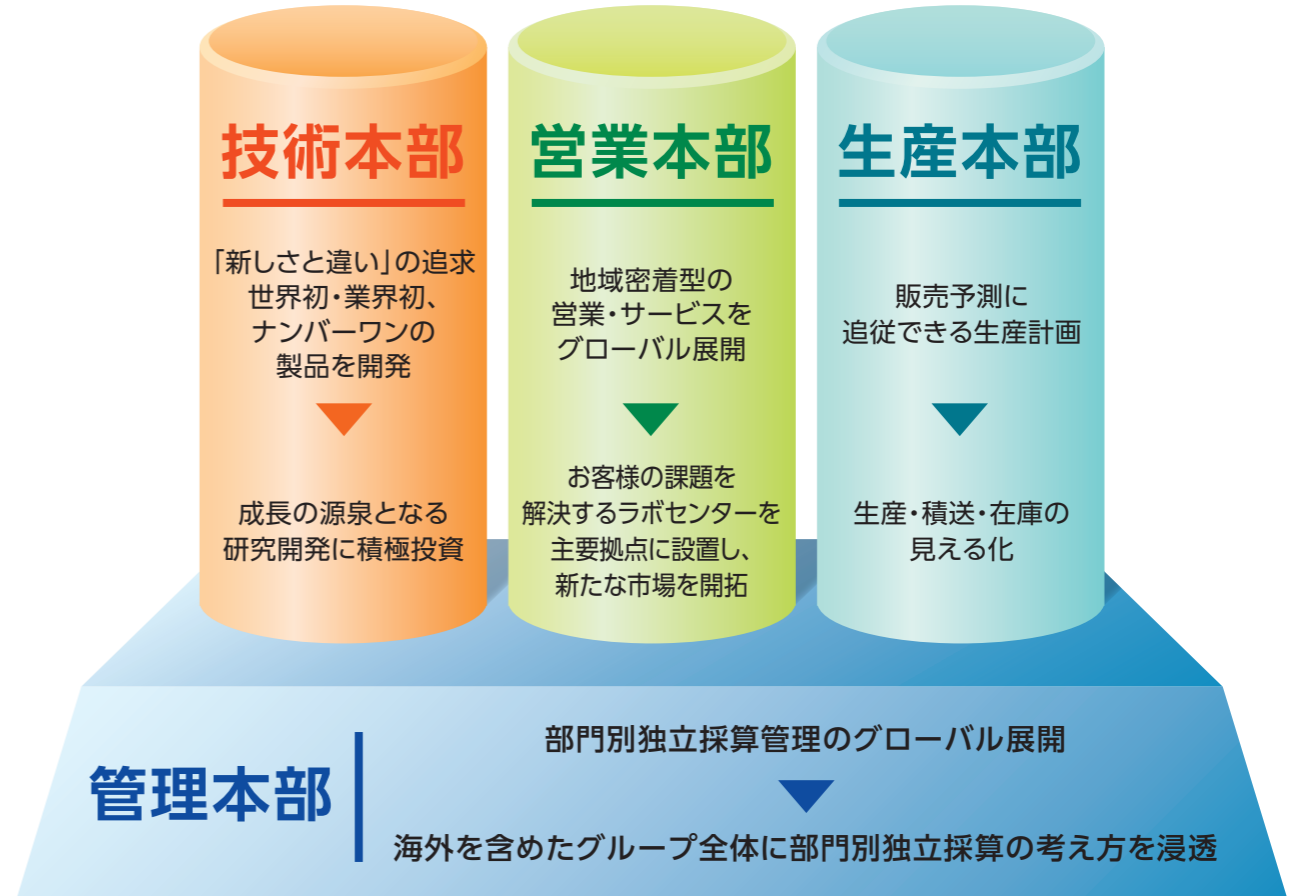
「M1000 / 真のグローバル企業を目指す」

当社はこれまで、独自のCutting技術とインクジェット技術をベースにプリント&カットのデジタル化を推進してまいりました。これからは、IoT (物のインターネット)と3D (3Dプリンタ)を成長に向けたキーサクセスファクターと位置付け、これまでにない付加価値を提供できる製品を開発・生産・販売してまいります。



真のグローバル企業を加速する4つの本部

各本部が明確なビジョンを掲げ業務を遂行していくことで「真のグローバル企業」へと進化を続けていきます。





株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、心より御礼申し上げます。
第42期第2四半期累計期間（2016年4月1日から2016年9月30日まで）
の株主通信をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

代表取締役社長 池田 和明

当社は、当事業年度より「M1000／真のグローバル企業を目指す」とする経営スローガンを掲げ、年商1,000億円のグローバル企業を目指して新たな船出を切りました。それと歩調を合わせかのようには円高が急速に進行し、覚悟はしていたものの厳しい荒波を受けながらの船出となっております。

そのような中でも、当第2四半期累計期間において中長期スパンで成長するためのドライバーを着実に仕組むことができたと自負しております。まず、インドにおける当社グループの事業展開についてですが、これまで現地の係争のために制約を受けておりましたが、2016年5月に合併出資者との和解が成立いたしました。これにより潜在力の高いインド市場に対し、今後は当社独資の子会社（MIMAKI INDIA PRIVATE LIMITED）で存分に深耕できる状況となりました。

また、2016年10月に、デジタルプリント関連装置の製造・販売・サービスを手掛けるイタリアの開発製造子会社（Mimaki La Meccanica S.p.A）を

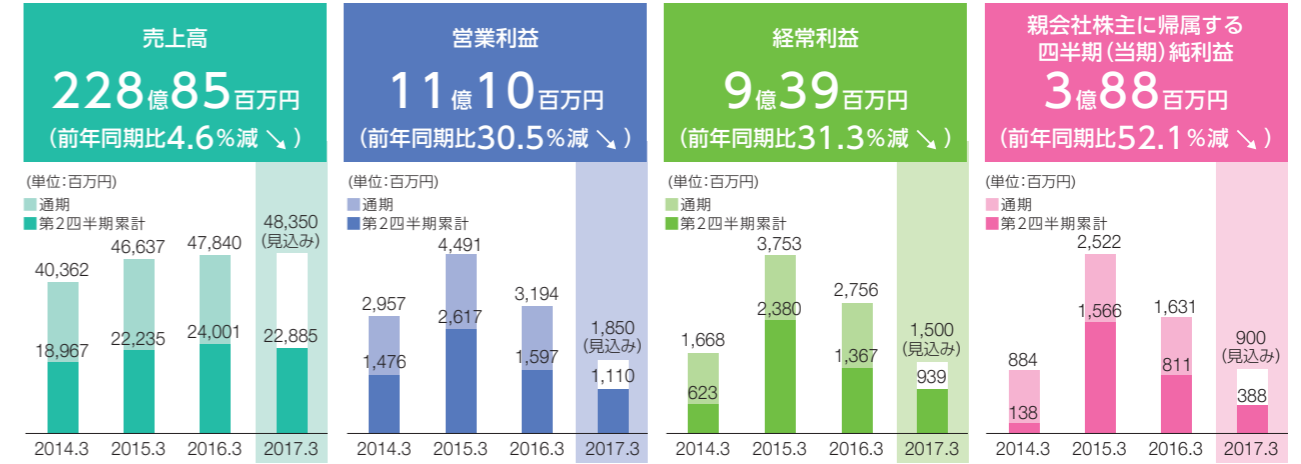
取得いたしました。これにより当社が製造しているTA市場向けハイエンドモデルが製品ラインナップに加わり、当社グループはTA市場をフルカバーできる製品力を確保いたしました。

さらに、2016年7月には東京都品川区内に大型デモセンターを開設し、従来の東京支社に設置できなかった大型機種を常設し、随時デモンストレーションができる体制を構築いたしました。同時期に長野県東御市の本社でも、専門的なプリントの試験や評価を行ってお客様の課題解決に貢献するTA/IPラボセンターを開設いたしました。このTA/IPラボセンターは順次グローバルに展開し、サービスの向上とノウハウの蓄積に努めてまいります。

このように、当社の活動領域には将来の成長に向けた課題が存在いたします。我々はこれからも危機感とスピード感をもってこれらの課題に対処してまいり所存であります。引き続きのご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

Trends in Business Performance

業績のポイント — 連結業績ハイライト



売上高について

当第2四半期累計期間の平均為替レート（1ドル105.33円、1ユーロ118.21円）は、前年同期（1ドル121.80円、1ユーロ135.07円）と比べて大幅な円高となり、その影響は前年同期比の連結売上高を約25億円押し下げる要因となりました。そのような中でも、IP、TA市場は増収を維持しており、エリア別でも国内は引続き好調で、欧米も現地通貨ベースでは前年同期比増収を確保しています。

利益について

海外売上が約4分の3に対して、当社の主力な生産工場は国内に所在するため、利益においても為替の影響を大きく受け、当第2四半期累計期間における円高は、前年同期比の連結営業利益を約13億円押し下げる要因となりました。そのような中でも、売上原価の低減や販売管理費の削減により、営業利益で11億円を確保し前年同期比約5億円の減益にとどめる事ができました。

通期の見通し	2017年3月期連結業績予想	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	2017年3月期期末配当予想
		483億50百万円 (前年同期比1.1%増↑)	18億50百万円 (前年同期比42.1%減↓)	15億円 (前年同期比45.6%減↓)	9億円 (前年同期比44.8%減↓)	1株につき5円

2017年3月期の連結業績予想は据え置きといたします。但し、当第3四半期以降の想定為替レートはドルを1ドル105円から100円へ、ユーロを1ユーロ120円から110円へ変更いたします。想定為替レートを円高に見直すことは減収要因となりますが、2016年10月に連結子会社化したイタリアMimaki La Meccanica S.p.Aの売上貢献等でカバーする見込みです。足元の事業環境は円高や地政学的要因により困難な状況にありますが、「真のグローバル企業」に向けた成長を持続してまいります。

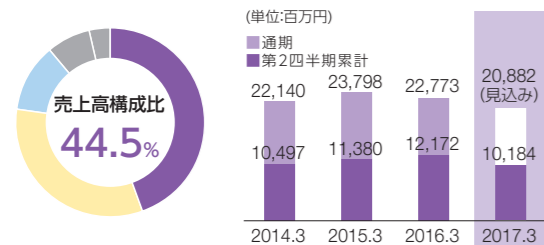
詳細な財務情報は、当社Webサイト「IR情報」をご覧ください。アドレスはこちら ▶ <http://ir.mimaki.com/>

Financial Highlight

業績のポイント — 市場別状況について

SG サイングラフィックス市場

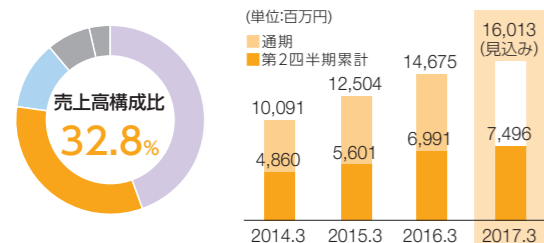
売上高 **101億84百万円** (前年同期比16.3%減)



広告・看板等のサイングラフィックス市場は、競合他社との競争激化等により売上高は101億84百万円(前年同期比16.3%減)となりました。主な要因は、当社の主力機種であるJV300シリーズ、JV150シリーズ等のエントリーモデルに他社の新製品が投入されたためです。一方で、2016年4月に発売した大型UV硬化インクジェットプリンタのUJV55-320は順調に販売拡大し、SG市場を下支えしました。

IP インダストリアルプロダクツ市場

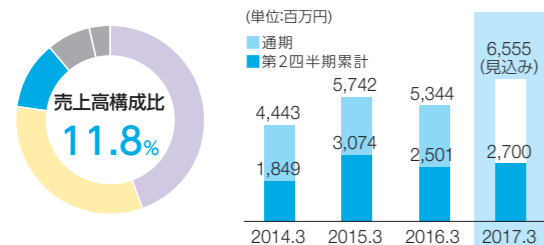
売上高 **74億96百万円** (前年同期比7.2%増)



ノベルティや工業製品等のインダストリアルプロダクツ市場の売上高は好調に推移し、74億96百万円(同7.2%増)となりました。従来の小型モデルに加えて、フラットベッドタイプの大型モデルJFX200-2513が主力製品に成長し、販売台数が増加しました。さらに、2015年11月に発売したUJF-7151plusがプリント精度において市場で高い評価を受けており、順調に販売台数を伸ばしました。

TA テキスタイル・アパレル市場

売上高 **27億円** (前年同期比8.0%増)



衣服や生地等のテキスタイル・アパレル市場の売上高は好調に推移し、27億円(同8.0%増)となりました。2015年7月に発売した水性昇華転写方式のエントリーモデルTS300P-1800が主力機種へ成長し、2016年2月に発売した大型機種TS500P-3200の販売が前期に引き続き拡大しました。さらに、様々な素材にプリントできるダイレクト捺染向けのインクを拡充させたことで、エントリーモデルTx300P-1800の販売が拡大しました。

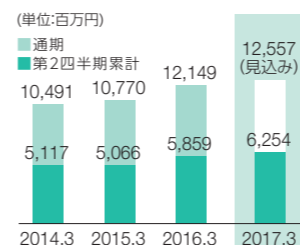
● 保守部品 7.5%、その他 3.4%

Financial Highlight

業績のポイント — エリア別市場状況、品目別状況について

日本

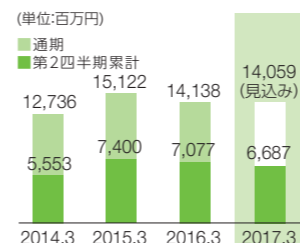
売上高 **62億54百万円** (前年同期比6.7%増)



競合のひしめく国内市場ですが、前年同期の売上高を上回ることができました。SG市場向け製品は厳しい状況となりましたが、IP市場向けの製品本体とインクの販売が拡大しました。

欧州

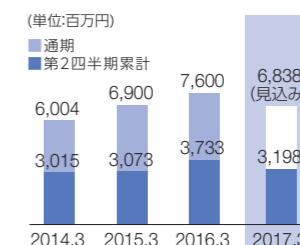
売上高 **66億87百万円** (前年同期比5.5%減)



売上高は前年同期を下回りましたが、円/ユーロの為替影響を除いた現地通貨ベース(ユーロ)では増加しました。特にIP市場向けの製品本体の販売台数とSG、TA市場向けインクの販売台数が増加しました。

北米

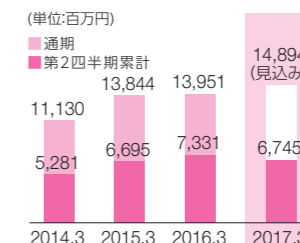
売上高 **31億98百万円** (前年同期比14.3%減)



売上高は前年同期を下回りましたが、円/ドルの為替影響を除いた現地通貨ベース(ドル)では同水準となりました。SG市場向け製品は厳しい状況が続いていますが、IP、TA市場向けの製品本体の販売台数が増加しました。

アジア・オセアニア、その他

売上高 **67億45百万円** (前年同期比8.0%減)

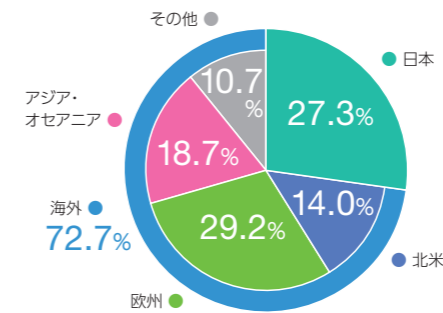


前第2四半期累計期間まで好調だった中国市場での販売状況が低迷し、売上高は前年同期を下回りました。しかしながら、中国を除くアジア・オセアニアや中南米ではIP、TA市場向け製品の販売が拡大しました。

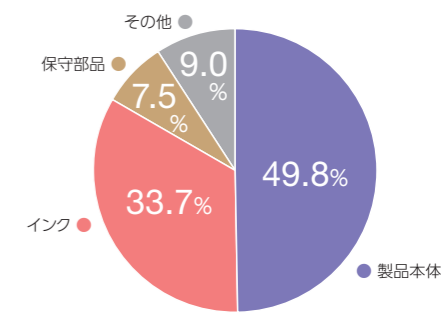
2017年3月期 第2四半期累計実績

連結海外売上高 **166億31百万円**
 連結売上高に占める割合 **72.7%**
 約150ヶ国のお客様に製品・サービスをご提供

エリア別売上高構成比



品目別売上高構成比



TOPICS 01 **伊ラ・メカニカ社を子会社化、Tiger-1800B、Leopard-1800B、Fox-1800Bの販売を開始** TA

当社は2016年10月、テキスタイル捺染インクジェットプリンタを開発・製造・販売するイタリアの有力メーカー、ラ・メカニカ社を新たに子会社化いたしました。9月には同社が開発したテキスタイル・アパレル向けベルト搬送方式ダイレクト捺染インクジェットプリンタ3機種を販売開始いたしました。



2016年9月発売 **Tiger-1800B**



2016年9月発売 **Leopard-1800B**



2016年9月発売 **Fox-1800B**

TOPICS 02 **JPデモセンター及びTA/IPラボセンターを開設**

これまで以上に細やかにお客様の課題やニーズに寄り添ったご提案ができる環境、体制の構築を目指し、JPデモセンター、TAラボセンター、IPラボセンターを開設いたしました。実機を使用したデモンストレーションなどを通じて、最適なソリューションを提案いたします。

JPデモセンター 住所 〒141-0031 東京都品川区西五反田7丁目22番地17 TOCビル6階

TAラボセンター (日本) 住所 〒389-0513 長野県東御市滋野乙2182番地3 (株式会社ミマキエンジニアリング本社内)

IPラボセンター (日本) 住所 〒389-0513 長野県東御市滋野乙2182番地3 (株式会社ミマキエンジニアリング本社内)

TOPICS 03 **UJF-3042Mk II、UJF-6042Mk IIの販売を開始** IP

「UJF-3042FX/HG」「UJF-6042」の後継機となる新型モデル。生産スピード、美しさ、アプリケーション対応力をさらに進化させました。



UJF-3042 Mk II

2016年10月発売



UJF-6042 Mk II

2016年10月発売

TOPICS 04 **Tx300P-1800Bの販売を開始** TA

薄手素材や伸縮素材でも安定した生地搬送を実現するベルト搬送方式を採用。5種類の捺染インクをお選びいただけます。



2016年12月発売

Tx300P-1800B

TOPICS 05 **Tx500P-3200DSの販売を開始** TA

プリンタ本体に発色機を搭載し、プリントから発色加工までをワンストップで実現。最大130m²/hの高速プリントで高生産を実現します。



2017年1月発売予定 **Tx500P-3200DS**

TOPICS 06 **純正メディアPWS5-G/PLS5-G/MWCS 5年間保証プログラム**

屋外長期の耐候性を実現した当社純正メディア「PWS5-G」(塩ビフィルム)、「PLS5-G」(ラミネートフィルム)の販売を2016年9月より開始いたしました。これに伴い、「Media Warranty Configuration System (MWCS)」に施工後5年間の安定品質を保証するプログラムを新たに設け、同日より運営を開始いたしました。



TOPICS 07 **JFX200-2531の販売を開始** IP

エントリーモデル「JFX200-2513」のプリントエンジンをそのままに、プリント領域を2倍に拡大。最大2.5×3.1mの大判メディアのセットが可能です。



2016年11月発売

JFX200-2531

1985-2005

2006-2011

2012

2013

2014

2015

2016

Drafting Plotter
ドラフティングプロッタ

- 1985 MF-120 A2フラットペンプロッタ
- 1986 MX-11/10 サーボ方式縦型ペンプロッタ
- 1987 MG-110 A1縦型ペンプロッタ
- 1988 MX-11/10P 鉛筆プロッタ
- 1989 MR-11 サーマルプロッタ
- 1991 MX-760/790 高速鉛筆プロッタ
- 1993 MX-340/360/390 ローコスト鉛筆プロッタ
- 1994 MR-1600 LED方式プロッタA1版
- 1995 JP-560/590 モノクロインクジェットプロッタ
- 1997 JP-660/690C フルカラーインクジェットプロッタ
- 1999 MR-1900 LED方式プロッタA0版

Cutting Plotter
カッティングプロッタ

- 1987 MF-220C A2フラットカッティングプロッタ
- 1988 CG-45 デスクトップカッティングプロッタ
- 1989 CG-90SD 縦型カッティングプロッタ
- 1990 CG-120 ローコストカッティングプロッタ
- 1991 CG-300S 卓上カッティングプロッタ
- 1992 CG-60/90 海外向け縦型カッティングプロッタ
- 1993 HF-500 熟ペンカッティングプロッタ
- 1994 CG-90AP Aパラレル用型紙カッター
- 1995 CG-6/9/12 海外向けローコストカッティングプロッタ
- 1996 CG-100SD 高速カッティングプロッタ
- 1997 Vector Link PS対応カッティングソフトウェア(MacOS)
- 1998 CG-100AP 1m幅アパレル用型紙カッター
- 1999 CG-100/130Lx 高速カッティングプロッタ
- 2000 CG-160FX CorelDRAW用カッティングソフトウェア
- 2001 CG-130FX 高速トンボセンサー付カッティングプロッタ
- 2002 CG-75/130/160FX II ルータ対応大型フラットベッドカッティングプロッタ
- 2003 CG-75/130/160FX II プリント&カッティングユニット
- 2004 CG-160FX 高速トンボセンサー付大型カッティングプロッタ
- 2005 CG-75/130/160FX II 高精度・高機能マルチカッティングプロッタ
- 2006 CG-60SR デスクトップ型カッティングプロッタ
- 2007 CG-60SL 海外向け低価格デスクトップ型カッティングプロッタ
- 2008 CF3-1631/1610 ルータ対応大型フラットベッドカッティングプロッタ
- 2009 JF3-260 超ワイドソルベントIJP
- 2010 JF3-130/160 ソルベントIJP
- 2011 JF3-260 スーパーワイドフォーマットIJP
- 2012 JF3-1631plus LED-UV方式大型フラットベッドIJP
- 2013 JF3-1615plus LED-UV方式大型フラットベッドIJP
- 2014 JF3-1604 LED-UV方式フラットベッドIJP
- 2015 JF3-1604 LED-UV方式フラットベッドIJP
- 2016 JF3-1604 LED-UV方式フラットベッドIJP

Inkjet Printer
インクジェットプリンタ(IJP)

- 1996 JV-1300 水性顔料インクフルカラーIJP
- 1998 JV2-130 6色顔料インクフルカラーIJP
- 1999 JV2-180 大型カラーIJP
- 2000 Tx Link テキスタイル用ソフトウェアRIP
- 2001 JV4-130/160/180 大型フルカラーIJP
- 2002 JV3-130S/160S ソルベントIJP
- 2003 DM2-1810 大型フラットベッドIJP
- 2004 CG-100/130Lx 高速カッティングプロッタ
- 2005 CG-130FX 高速トンボセンサー付カッティングプロッタ
- 2006 CG-60SR デスクトップ型カッティングプロッタ
- 2007 CG-60SL 海外向け低価格デスクトップ型カッティングプロッタ
- 2008 CF3-1631/1610 ルータ対応大型フラットベッドカッティングプロッタ
- 2009 JF3-260 超ワイドソルベントIJP
- 2010 JF3-130/160 ソルベントIJP
- 2011 JF3-260 スーパーワイドフォーマットIJP
- 2012 JF3-1631plus LED-UV方式大型フラットベッドIJP
- 2013 JF3-1615plus LED-UV方式大型フラットベッドIJP
- 2014 JF3-1604 LED-UV方式フラットベッドIJP
- 2015 JF3-1604 LED-UV方式フラットベッドIJP
- 2016 JF3-1604 LED-UV方式フラットベッドIJP

- 2001 JV4-130/160/180 大型フルカラーIJP
- 2002 JV3-130S/160S ソルベントIJP
- 2003 DM2-1810 大型フラットベッドIJP
- 2004 CG-100/130Lx 高速カッティングプロッタ
- 2005 CG-130FX 高速トンボセンサー付カッティングプロッタ
- 2006 CG-60SR デスクトップ型カッティングプロッタ
- 2007 CG-60SL 海外向け低価格デスクトップ型カッティングプロッタ
- 2008 CF3-1631/1610 ルータ対応大型フラットベッドカッティングプロッタ
- 2009 JF3-260 超ワイドソルベントIJP
- 2010 JF3-130/160 ソルベントIJP
- 2011 JF3-260 スーパーワイドフォーマットIJP
- 2012 JF3-1631plus LED-UV方式大型フラットベッドIJP
- 2013 JF3-1615plus LED-UV方式大型フラットベッドIJP
- 2014 JF3-1604 LED-UV方式フラットベッドIJP
- 2015 JF3-1604 LED-UV方式フラットベッドIJP
- 2016 JF3-1604 LED-UV方式フラットベッドIJP

- 2006 Mimaki Profile Master カラーマネジメントシステム
- 2007 UJF-605C II フラットベッドUV硬化IJP
- 2008 JF3-260 超ワイドソルベントIJP
- 2009 JF3-130/160 ソルベントIJP
- 2010 JF3-260 スーパーワイドフォーマットIJP
- 2011 JF3-1631plus LED-UV方式大型フラットベッドIJP
- 2012 JF3-1615plus LED-UV方式大型フラットベッドIJP
- 2013 JF3-1604 LED-UV方式フラットベッドIJP
- 2014 JF3-1604 LED-UV方式フラットベッドIJP
- 2015 JF3-1604 LED-UV方式フラットベッドIJP
- 2016 JF3-1604 LED-UV方式フラットベッドIJP

- 2006 JF3-260 超ワイドソルベントIJP
- 2007 UJF-605C II フラットベッドUV硬化IJP
- 2008 JF3-260 スーパーワイドフォーマットIJP
- 2009 JF3-130/160 ソルベントIJP
- 2010 JF3-260 スーパーワイドフォーマットIJP
- 2011 JF3-1631plus LED-UV方式大型フラットベッドIJP
- 2012 JF3-1615plus LED-UV方式大型フラットベッドIJP
- 2013 JF3-1604 LED-UV方式フラットベッドIJP
- 2014 JF3-1604 LED-UV方式フラットベッドIJP
- 2015 JF3-1604 LED-UV方式フラットベッドIJP
- 2016 JF3-1604 LED-UV方式フラットベッドIJP

- 2006 JF3-260 超ワイドソルベントIJP
- 2007 UJF-605C II フラットベッドUV硬化IJP
- 2008 JF3-260 スーパーワイドフォーマットIJP
- 2009 JF3-130/160 ソルベントIJP
- 2010 JF3-260 スーパーワイドフォーマットIJP
- 2011 JF3-1631plus LED-UV方式大型フラットベッドIJP
- 2012 JF3-1615plus LED-UV方式大型フラットベッドIJP
- 2013 JF3-1604 LED-UV方式フラットベッドIJP
- 2014 JF3-1604 LED-UV方式フラットベッドIJP
- 2015 JF3-1604 LED-UV方式フラットベッドIJP
- 2016 JF3-1604 LED-UV方式フラットベッドIJP

- 2006 JF3-260 超ワイドソルベントIJP
- 2007 UJF-605C II フラットベッドUV硬化IJP
- 2008 JF3-260 スーパーワイドフォーマットIJP
- 2009 JF3-130/160 ソルベントIJP
- 2010 JF3-260 スーパーワイドフォーマットIJP
- 2011 JF3-1631plus LED-UV方式大型フラットベッドIJP
- 2012 JF3-1615plus LED-UV方式大型フラットベッドIJP
- 2013 JF3-1604 LED-UV方式フラットベッドIJP
- 2014 JF3-1604 LED-UV方式フラットベッドIJP
- 2015 JF3-1604 LED-UV方式フラットベッドIJP
- 2016 JF3-1604 LED-UV方式フラットベッドIJP

- 2006 JF3-260 超ワイドソルベントIJP
- 2007 UJF-605C II フラットベッドUV硬化IJP
- 2008 JF3-260 スーパーワイドフォーマットIJP
- 2009 JF3-130/160 ソルベントIJP
- 2010 JF3-260 スーパーワイドフォーマットIJP
- 2011 JF3-1631plus LED-UV方式大型フラットベッドIJP
- 2012 JF3-1615plus LED-UV方式大型フラットベッドIJP
- 2013 JF3-1604 LED-UV方式フラットベッドIJP
- 2014 JF3-1604 LED-UV方式フラットベッドIJP
- 2015 JF3-1604 LED-UV方式フラットベッドIJP
- 2016 JF3-1604 LED-UV方式フラットベッドIJP

会社の概況

商号	株式会社ミマキエンジニアリング
設立	1975年8月
資本金	43億5,746万円
事業内容	コンピュータ周辺機器及びソフトウェアの開発・製造・販売
従業員	連結1,501名/単体786名

役員一覧

代表取締役会長	池田 明
代表取締役社長	池田 和明
取締役副社長	佐金 榮
専務取締役	竹内 和行
取締役	三宅 洋
取締役	羽場 康博
取締役相談役	田中 規幸
社外取締役	田中 誠
社外取締役	荒井 寿光
常勤監査役	土屋 理義
社外監査役	岩下 智和
社外監査役	土屋 幸夫

会計監査人

有限責任監査法人トーマツ

国内事業所

本社・牧家工場	長野県東御市滋野乙2182番地3
加沢工場	長野県東御市加沢1333番地3
長野開発センター	長野県長野市北長池520番地1
八王子開発センター	東京都八王子市北野町593番地6
JPデモセンター	東京都品川区西五反田7丁目22番地17 TOCビル6階

営業拠点

東京、大阪、札幌、仙台、
長野、横浜、さいたま、金沢、
名古屋、京都、神戸、広島、
四国(高松)、福岡

沿革

1975年	8月	有限会社ミマキエンジニアリング設立	8月	本社を長野県東御市滋野乙に移転
1979年	3月	東京営業所開設	2007年	3月 ジャスダック証券取引所上場
1981年	5月	株式会社ミマキエンジニアリングに改組	12月	御牧噴墨打印科技(浙江)有限公司設立
1983年	12月	OEM向けA2フラットベッドペンプロッタ RY-1003開発開始	2008年	7月 Mimaki Deutschland GmbHを子会社化
1985年	2月	「北斎」の商標で、A2フラットペンプロッタ販売開始	2009年	1月 ISO14001 認証(審査登録)
1986年	3月	加沢工場操業開始	6月	上海御牧貿易有限公司設立
	6月	大阪営業所開設	7月	MIMAKI BRASIL COMERCIO E IMPORTACAO LTDA設立
	9月	名古屋営業所開設	2010年	8月 平湖御牧貿易有限公司設立
1988年	6月	加沢工場増設完了に伴い、本社事務所移転	2011年	11月 PT. MIMAKI INDONESIA設立
1990年	4月	各営業所開設(福岡、広島、仙台、札幌)	2013年	4月 京都営業所開設
1993年	12月		4月 MIMAKI AUSTRALIA PTY LTD設立	
1994年	1月	東京支社にショールームオープン	4月	MIMAKI SINGAPORE PTE. LTD.設立
1995年	7月	台湾御牧股份有限公司設立	6月	神戸営業所開設
	10月	金沢営業所開設	7月	MIMAKI INDIA PRIVATE LIMITED設立
1999年	1月	ISO 9001認証(審査登録)	9月	四国営業所開設
	9月	MIMAKI USA, INC. 設立	2014年	10月 横浜営業所開設
2003年	1月	大阪支店にショールームオープン	2015年	3月 東京証券取引所市場第一部に市場変更
	10月	長野開発センター開設	5月	八王子開発センター開設
2004年	4月	株式会社ミマキプレジジョン設立	7月	株式会社ウィズテック吸収合併
	4月	MIMAKI EUROPE B.V.設立	7月	滋野ショールームオープン
	4月	さいたま、熊本営業所開設	2016年	4月 MIMAKI EURASIA DIJITAL BASKI TEKNOLOJILERI PAZARLAMA VE TICARET LIMITED SIRKETI設立
	5月	本社新社屋竣工、操業開始	7月	JPデモセンター開設
	6月	株式会社ウィズテックを子会社化	7月	TAラボセンター開設
2005年	4月	テクニカルコールセンター開設	8月	IPラボセンター開設
2006年	4月	株式会社グラフィッククリエーションを子会社化	10月	Mimaki La Meccanica S.p.A を子会社化

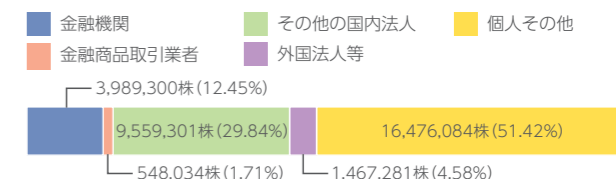
株式の状況

発行可能株式総数	128,160,000株
発行済株式の総数	32,040,000株
株主数	5,930名

大株主の状況

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
株式会社池田ホールディングス	4,427,200	13.82
有限会社田中企画	2,400,000	7.49
田中 規幸	2,022,000	6.31
ミマキエンジニアリング従業員持株会	1,650,800	5.15
東京中小企業投資育成株式会社	1,524,000	4.76
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	980,600	3.06
株式会社八十二銀行	840,000	2.62
池田 明	827,000	2.58
エプソンアヴァシス株式会社	720,000	2.25
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	717,200	2.24

所有者別状況



ホームページのご案内

当社のホームページでは、IR情報やプレスリリースなどの最新の情報に加え、当社の事業概要、製品、サービスをより深くご理解いただくためのコンテンツをご覧いただけます。ぜひアクセスしてください。

アクセスはこちら > <http://ir.mimaki.com/>

